

<教育目標> 豊かな人間性を身に付け、高い志をもち、人生を切り拓く生徒の育成



# 広ヶ野台地

五城目第一中学校  
校報 第7号  
令和2年8月25日

校訓 自主自立

コロナ禍による授業の遅れを取り戻すため、少し短めとなった夏季休業も終了し、校内に元気な声に戻ってきました。まずもって、大きな事故等がなかったことに、心より感謝申し上げます。生徒たちは、学習や部活動そして五中祭の準備に張り切って取り組んでいます。

さて、9月は休み前に実施できなかった行事等も加わり、忙しくなりそうです。5日には生徒会の最大行事である五中祭（今年は体育祭と文化祭の同日開催）、19日～20日には市郡秋季体育大会（陸上競技は12日に先行開催）、そして25日にはアンカーとして期末テストが待ち構えています。新型コロナウイルス等による感染症とともに熱中症にも気を付けて乗り切りたいと考えています。ご家庭でもお子さんの健康管理や励ましの声かけなどをよろしくお願いします。

## 五城目第一中学校 新聞通し秋田知ろう 切り抜き新聞で発表へ



本校は、昨年度からNIE（教育の充実を図るため新聞を活用する取組）の実践校に選出されています。本校の実践が、8月2日のさきがけこども新聞で紹介されました。

新聞記事を通して自分たちが住む地域のよさを知ろう。五城目町の五城目第一中学校では今年度、新聞記事を使って地域について深く学ぶ学習に取り組んでいます。自分の考えを記事の切り抜きなどとともにまとめた「切り抜き新聞」を作って発表するのが目標です。7月17日、3年生の総合的な学習の時間を取材すると、生徒たちがパソコンルームで新聞を読んだり、画面に向かって作業をしたりしていました。3年生のテーマは、秋田県内の市町村について調べ、それを元に五城目町がよりよくなるための提言をすること。新聞記事を手掛かりに、県内の市町村の特徴やどんなことが行われているのかなどを調べます。この日の学習では、生徒たちは過去の新聞を調べながら、各地の祭りやスポーツ大会など、関心のあ記事を選び、自分の考えをまとめていました。

小玉空さんは「新聞には自分の知らない地元の話が載っていて興味を持って読んでいます。秋田のことを調べて発表するのは、自分にとっても地元や秋田を知って好きになる良い機会」と話していました。五城目第一中学校では他にも、NIEタイムを設けるなど新聞を積極的に活用しています。NIEタイムは昨年度からの取り組みで、15分間で先生や生徒が選んだ記事を読み、250字で感想をまとめます。大沢春音さんは「最初は考えをまとめるのに苦労したけど、最近は慣れて、問題集で文章を読んで自分の意見をまとめる出題があってもしっかりと書けるようになった」と手応えを感じている様子でした。指導する松塚信子教諭は「思考力や表現力を高めようと始めた取り組み。自分の選んだ記事を取り上げてほしいという生徒もいて、社会に関心を持つきっかけになっているようだ」と話していました。

（藤原佐知子）



NIEタイムで書いた新聞記事の感想などを張り出している掲示板

あい言葉は  
NE(ねえ～)  
SHINBUN(新聞)  
YOMANEGA(読まねが)?  
NIEタイムでは、一般記事のほか、コラムや社説などさまざまな文章を読んでいます。

記事に登場する市町村はどこかな? 地図に書き込んだり、市町村のホームページを調べたりしながら理解を深めています。



新聞記事を選び、自分の考えなどをまとめる生徒たち

